

Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0

補足マニュアル Sun Netra X6270 M2
サーバーモジュール



Part No. 821-3654-10
2010 年 10 月、Revision A

Copyright © 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アSEMBル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS. Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション (人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む) への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

AMD, Opteron, AMD ロゴ, AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。Intel, Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は X/Open Company, Ltd. からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。



リサイクル
してください



Adobe PostScript

目次

このマニュアルの使用方法 v

1. ILOM 3.0 の機能セット 1

ILOM の概要 1

ILOM 3.0 の共通機能セットとサーバーモジュール固有の機能 1

ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット 2

2. Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュール用の ILOM プラットフォーム機能 3

サポートされるサーバーモジュールのファームウェア 4

サーバーモジュールの集中管理のための Hardware Management Pack 4

サポート情報の表示と Hardware Management Pack ソフトウェアのダウンロード 6

Hardware Management Pack のドキュメント 6

ILOM サイドバンド管理 6

サイドバンド管理に関する注意事項 7

▼ Web インタフェースを使用したサイドバンド管理の設定 8

▼ CLI を使用したサイドバンド管理の設定 8

▼ ホスト BIOS 設定ユーティリティを使用したサイドバンド管理の設定 10

SP とホストコンソール間のシリアルポート出力の切り替え 13

▼ Web インタフェースを使用したシリアルポート出力の切り替え 14

▼ CLI を使用したシリアルポート出力の切り替え 15

サーバーモジュールおよび CMM 障害のクリア	15
センサーとインジケータに関する参照情報	16
温度センサー	17
ファンセンサー	17
FEM および ESM センサー	17
電源装置センサー	18
エンティティ存在センサー	18
システムインジケータ	19
SNMP および PET メッセージの参照情報	20
SNMP トラップ	20
PET イベントメッセージ	25
索引	33

このマニュアルの使用方法

本書では、Oracle の Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールに固有の Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 ファームウェアについて説明します。

ILOM 3.0 とその機能の詳細、およびユーザーが行う作業の手順については、Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 マニュアルセットを参照してください。これらのマニュアルは [vi ページの「関連ドキュメント」](#) に記載されており、次の Web サイトから入手できます。

<http://docs.sun.com/apps/docs/prod/int.lights.mgr30#hic>

注 – Oracle Integrated Lights Out Manager は、以前は Sun Integrated Lights Out Manager という名称でした。

製品情報

Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールの詳細については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.oracle.com/goto/netrax6270m2>

このサイトには、次の情報とダウンロードにアクセスするためのリンクが含まれています。

- 製品情報および仕様
- サポートされているオペレーティングシステム
- ソフトウェアおよびファームウェアのダウンロード
- サポートされているオプションカード
- サポートされている Network Express Module
- 外部ストレージオプション
- Tools and Drivers DVD イメージ
- Sun Installation Assistant DVD イメージ
- SunVTS イメージ
- システムハンドブック

関連ドキュメント

次の表に記載されているドキュメントは、次の Web サイトから入手できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/nt6270.m2.srvrmod?l=en#hic>

タイトルと Part No.	コンテンツ	形式
『Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールご使用にあたって』 (821-3652)	サーバーモジュールに関する最新情報	PDF HTML
『Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールご使用の手引き』 (821-3656)	サーバーモジュールの設定に関する基本的な設置情報	PDF 印刷
『Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュール設置マニュアル』 (821-3653)	サーバーモジュールを設定するための詳細なインストール情報	PDF HTML 印刷物

タイトルと Part No.	コンテンツ	形式
『Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュール Linux、仮想マシンソフトウェア、および Oracle Solaris オペレーティングシステムインストール ガイド』 (821-3657)	Linux、Oracle、VM、VMware、および Oracle Solaris オペレーティングシステムのインストー ル手順	PDF HTML
『Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュール Windows オペレーティングシステムインストー ルガイド』 (821-3662)	Windows Server オペレーティングシステムの インストール手順	PDF HTML
『Sun Installation Assistant 2.3 Through 2.4 User's Guide for x64 Systems』 (821-0694)	Sun Installation Assistant (SIA) を使用して Windows または Linux オペレーティングシス テムをインストールする手順	PDF HTML
『Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールサー ビスマニュアル』 (821-3655)	サーバーモジュールを管理およびアップグレー ドするための情報および手順	PDF HTML
『Sun Server CLI Tools and IPMI Tool 2.0 User's Guide』 (821-1600)	CLI ツールおよび IPMITool のインストール、 設定、使用に関する情報	PDF HTML
『Oracle x86 Servers Diagnostics Guide』 (820-6750)	Oracle の x86 サーバーに付属する診断ソフト ウェアツールの使用方法に関する情報	PDF HTML
Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 マニュアルセット, 820-5523, 820-6410, 820- 6411, 820-6412, 820-6413	ILOM 3.0 をサポートするサーバーとおよびサー バーモジュールに共通の ILOM 機能とタスクに ついてのドキュメント	PDF HTML
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足マニュアル Sun Netra X6270 M2 サー バーモジュール』 (821-3654)	Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールに固有 の ILOM 3.0 に関する情報	PDF HTML
『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』 (821-1590)	すべての Sun ハードウェアシステムについて の、多言語対応ハードウェアの安全性とコンプ ライアンスに関する情報	印刷
『Sun Netra X6270 M2 Server Module Safety and Compliance Guide』 (821-0938)	このサーバーモジュールの安全性および適合性 に関する情報	PDF

これらのドキュメントの一部については、この表の上に記載されている Web サイト
で翻訳版が入手可能です。英語版は頻繁に改訂されており、翻訳版よりも最新の情報
が記載されています。

マニュアル、サポート、およびトレーニング

これらの Web サイトでは追加リソースを提供しています。

- マニュアル <http://docs.sun.com/>
- サポート <http://www.sun.com/support/>
- トレーニング <http://www.sun.com/training/>

ドキュメントのフィードバック

本書に関するご意見をお待ちしております。コメントは <http://docs.sun.com> の「Feedback[+]」リンクをクリックしてお送りください。ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足マニュアル Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュール』、Part No. 821-3654-10。

製品のダウンロード

最新のソフトウェア製品をダウンロードするには、次の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.oracle.com/goto/netrax6270m2>

このサイトには、次の情報とダウンロードにアクセスするためのリンクが含まれています。

- Tools and Drivers DVD イメージ
- Sun Installation Assistant DVD イメージ
- Sun Validation Test Suite (SunVTS) イメージ

第1章

ILOM 3.0 の機能セット

この章では、ILOM に関する概要を説明し、ILOM 3.0 で提供される ILOM の共通機能およびプラットフォーム固有の機能の目的を定義します。ここでは、次のトピックについて説明します。

- 1 ページの「[ILOM の概要](#)」
 - 1 ページの「[ILOM 3.0 の共通機能セットとサーバーモジュール固有の機能](#)」
 - 2 ページの「[ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット](#)」
-

ILOM の概要

Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) は、Oracle のすべての x86 ベースのサーバープラットフォームと一部の SPARC サーバープラットフォームにプリインストールされているシステム管理ファームウェアです。ILOM を使用すると、サーバーモジュールにインストールされたコンポーネントをアクティブに管理および監視できます。ILOM には、SNMP や IPMI のインタフェースのほかに、ブラウザベースのインタフェースやコマンド行インタフェースがあります。

ILOM 3.0 の共通機能セットとサーバーモジュール固有の機能

Oracle の Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールは、ILOM 3.0 で提供される ILOM 機能セットをすべてサポートします。また、Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールに固有の ILOM 機能もサポートします。

すべてのサーバープラットフォームに共通する機能を使用する方法については、Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 マニュアルセットを参照してください。各マニュアルの詳細については、[2 ページの「ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット」](#)を参照してください。

Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュール固有の ILOM 機能の使用方法については、[第2章](#)を参照してください。

ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット

表 1-1 に、Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 マニュアルセットの各マニュアルを示します。すべてのサーバープラットフォームに共通の ILOM 機能の使用方法については、これらのガイドを参照してください。

表 1-1 ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット

タイトルと Part No.	コンテンツ
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 機能更新およびリリースノート』 (820-7329)	ILOM 3.0 以降の各リリースについて、このガイドには次の情報が記載されます。 • ILOM 3.0.x の新しい機能 • 既知の問題と回避方法 • 修正済みの問題
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 入門ガイド』 (820-5523)	このガイドでは、ILOM の使用を開始するためのセットアップと設定に関する使いやすい手順を説明します。
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 概念ガイド』 (820-6410)	このガイドでは、ILOM 3.0 で利用可能なすべての共通機能の概念について説明します。
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』 (820-6411)	このガイドでは、ILOM 3.0 で利用可能な Web ベースの共通機能すべての使用手順を説明します。
『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』 (820-6412)	このガイドでは、ILOM 3.0 で利用可能なコマンド行の共通機能すべての使用手順を説明します。
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Management Protocols Reference Guide』 (820-6413)	このガイドでは、次の管理プロトコルを使用する場合の ILOM 機能へのアクセスについて説明します。 • SNMP • インテリジェントプラットフォーム管理インタフェース (Intelligent Platform Management Interface、IPMI) • Web Service Management (WS-Man) および Common Information Model (CIM)

Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 マニュアルセットの各マニュアルは、次の Web サイトで表示およびダウンロードできます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic>

第2章

Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュール用の ILOM プラットフォーム機能

ILOM 3.0 は多くのプラットフォーム上で動作し、すべてのプラットフォームに共通する機能をサポートしています。ILOM 3.0 機能の中には、すべてのプラットフォームではなく一部のプラットフォームでのみ使用できるものがあります。この章では、Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールに固有の機能について説明します。

すべてのサーバープラットフォームに共通する ILOM 機能の詳細については、Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 マニュアルセット ([2 ページの「ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット」](#)に記載) を参照してください。

この章で説明する Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールに固有の ILOM 機能は、次のとおりです。

- [4 ページの「サポートされるサーバーモジュールのファームウェア」](#)
- [4 ページの「サーバーモジュールの集中管理のための Hardware Management Pack」](#)
- [6 ページの「ILOM サイドバンド管理」](#)
- [13 ページの「SP とホストコンソール間のシリアルポート出力の切り替え」](#)
- [15 ページの「サーバーモジュールおよび CMM 障害のクリア」](#)
- [16 ページの「センサーとインジケータに関する参照情報」](#)
- [20 ページの「SNMP および PET メッセージの参照情報」](#)

サポートされるサーバーモジュールのファームウェア

表 2-1 に、Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールでサポートされている ILOM および BIOS ファームウェアのバージョンを示します。

表 2-1 サポートされるプラットフォームファームウェア

ILOM SP バージョン	ホスト BIOS バージョン	ILOM シャーシ管理モジュール (CMM) ファームウェア	該当するハードウェア
3.0.9.15.a	08.04.01	3.0.6.11.b (r48988) 以降のリリース	Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュール

サーバーモジュールのファームウェアを更新する方法については、次の Web サイトで Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 マニュアルセットを参照してください。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic>

サーバーモジュールの集中管理のための Hardware Management Pack

Oracle の Sun Server Hardware Management Pack (Hardware Management Pack) には、ホストオペレーティングシステムから Oracle サーバーモジュールを管理および設定する際に役立つツールが用意されています。これらのツールを使用するには、サーバーモジュールに Hardware Management Pack ソフトウェアをインストールする必要があります。Hardware Management Pack ソフトウェアをインストールしたあと、表 2-2 に示すサーバーの管理作業を実行できるようになります。

表 2-2 Hardware Management Pack – サーバー管理タスク

ホスト OS から実行する サーバーモジュール管理作業*	Hardware Management Pack の実装	ツール
ホスト IP アドレスによる Oracle ハードウェアの監視	Hardware Management Agent および関連する簡易ネットワーク管理プロトコル (Simple Network Management Protocol, SNMP) プラグインをオペレーティングシステムレベルで使用して、Oracle ハードウェアの帯域内監視を有効にします。この帯域内監視機能では、ホストオペレーティングシステムの IP アドレスを使用して Oracle サーバーモジュールを監視できます。ILOM 管理ポートをネットワークに接続する必要はありません。	ホスト OS レベルの管理ツール
ストレージデバイスの監視 (RAID アレイを含む)	Server Storage Management Agent をオペレーティングシステムレベルで使用して、Oracle サーバーモジュールで設定されたストレージデバイスの帯域内監視を有効にします。Server Storage Management Agent は、ハードディスクドライブ (Hard Disk Drive, HDD) や RAID アレイなどのストレージデバイスに関する情報を収集するオペレーティングシステムデーモンを備えており、この情報を ILOM サービスプロセッサに送信します。ILOM のストレージ監視機能では、Server Storage Management Agent が提供する情報を表示および監視できます。ILOM のストレージ監視機能には、コマンド行インタフェース (Command-Line Interface, CLI) からアクセスできます。	ILOM 3.0 CLI ストレージ監視機能
BIOS CMOS の設定、デバイスの起動順序、および一部の SP 設定の構成	ホストオペレーティングシステムから biosconfig CLI ツールを使用して、Oracle x86 サーバーモジュールの BIOS CMOS 設定、デバイスの起動順序、および一部のサービスプロセッサ (Service Processor, SP) の設定を構成します。	ホスト OS レベルの biosconfig CLI
サポートされる SAS ストレージデバイスのファームウェアバージョンの照会、更新、および検証	ホストオペレーティングシステムから fwupdate CLI ツールを使用して、サポートされるストレージデバイスのファームウェアバージョンを照会、更新、および検証します。サポートされるストレージデバイスには、SAS ホストアダプタ (Host Bus Adapter, HBA)、埋め込み SAS ストレージコントローラ、LSI SAS ストレージエクспанダ、ディスクドライブ (回転型メディアとフラッシュドライブ) などがあります。	ホスト OS レベルの fwupdate CLI
ILOM 設定の復元、設定、および表示	ホストオペレーティングシステムから ilomconfig CLI ツールを使用して、ILOM 設定の復元のほか、ネットワーク管理、クロック設定、およびユーザー管理に関連する ILOM プロパティの表示と設定を実行します。	ホスト OS レベルの ilomconfig CLI
ストレージドライブでの RAID ボリュームの表示または作成	ホストオペレーティングシステムから raidconfig CLI ツールを使用して、RAID コントローラに接続されたストレージドライブ (ストレジアレイを含む) で、RAID ボリュームを表示および作成します。	ホスト OS レベルの raidconfig CLI
IPMITool を使用した Oracle サーバーモジュールへのアクセスと管理	ホストオペレーティングシステムからオープンソースのコマンド行 IPMITool を使用し、IPMI プロトコルを通じて Oracle サーバーモジュールにアクセスして管理します。	ホスト OS レベルのコマンド行 IPMITool

* サポートされるホストオペレーティングシステム: Oracle Solaris、Linux、Windows、および VMware

サポート情報の表示と Hardware Management Pack ソフトウェアのダウンロード

Hardware Management Pack ソフトウェアのサポート情報の表示、または Hardware Management Pack ソフトウェアのダウンロードについては、次の表を参照してください。

説明	URL
Hardware Management Pack のオペレーティングシステムおよびハードウェアに関するサポート情報の確認	http://www.sun.com/systemmanagement/managementpack_supportmatrix.jsp
Hardware Management Pack ソフトウェアのダウンロード	http://www.sun.com/systemmanagement/managementtools.jsp#management

Hardware Management Pack のドキュメント

Management Pack ソフトウェアのインストール手順、またはそのコンポーネントの使用方法については、次に示す Hardware Management Pack のドキュメントを参照してください。

- 『Sun Server Hardware Management Pack 2.0 ユーザーズガイド』 (821-2181)
- 『Sun Server Management Agents 2.0 ユーザーズガイド』 (821-2184)
- 『Sun Server CLI Tools and IPMI Tool 2.0 User's Guide 』 (821-1600)

ILOM のストレージ監視機能の使用方法については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 機能更新およびリリースノート』 (820-7329) の第 4 章を参照してください。

SNMP または IPMI を通じてサーバーモジュールにアクセスして管理する方法については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Management Protocols Reference Guide』 (820-6413) を参照してください。

ILOM サイドバンド管理

デフォルトでは、帯域外ネットワーク管理ポート (NET MGT) を使用して、サーバーモジュールのサービスプロセッサ (Service Processor、SP) に接続します。ILOM のサイドバンド管理機能を利用すると、NET MGT ポート、または帯域内ポートであるサーバーモジュールのギガビット Ethernet ポート (NET 0、1、2、3) のいずれかを選択して、SP との間で ILOM コマンドを送受信できます。帯域内ポートは、サイドバンドポートとも呼ばれます。

SP を管理するためにサイドバンド管理ポートを使用すると、必要となるケーブル接続とネットワークスイッチポートの数がそれぞれ 1 つ少なくて済むという利点があります。データセンターなどの多数のサーバーを管理する構成では、サイドバンド管理により、ハードウェアおよびネットワークの使用量を大幅に節減できます。

サイドバンド管理は、Web インタフェース、コマンド行インタフェース (Command-Line Interface, CLI)、BIOS、または IPMI のいずれかを使用して設定できます。特別な注意事項と設定手順については、次に示す節を参照してください。

- [7 ページの「サイドバンド管理に関する注意事項」](#)
- [8 ページの「Web インタフェースを使用したサイドバンド管理の設定」](#)
- [8 ページの「CLI を使用したサイドバンド管理の設定」](#)
- [10 ページの「ホスト BIOS 設定ユーティリティーを使用したサイドバンド管理の設定」](#)

サイドバンド管理に関する注意事項

ILOM でサイドバンド管理を有効化する場合、次の状況が発生する場合があります。

- SSH、Web、ILOM リモートコンソールなどのネットワーク接続を使用して SP に接続している状態で、SP 管理ポートの設定を変更すると、SP への接続が失われる場合があります。
- SP とホストオペレーティングシステム間のチップ内接続が、オンボードのホストギガビット Ethernet コントローラではサポートされないことがあります。この状況が発生した場合は、送信元ターゲットと宛先ターゲット間のトラフィックの転送に、L2 ブリッジング/スイッチングの代わりに別のポートまたは経路を使用します。
- サーバーモジュールホストの電源を入れ直すと、サイドバンド管理用に設定されているギガビット Ethernet ポート (NET 0、1、2、3) で、ネットワーク接続が短時間中断することがあります。この状況が発生した場合は、隣接するスイッチ/ブリッジのポートをホストポートとして設定します。

注 – ポートがスイッチポートとして設定されていて、Spanning Tree Protocol (STP) に参加している場合、スパニングツリーの再計算のため、機能停止が長引くことがあります。

▼ Web インタフェースを使用したサイドバンド管理の設定

1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. 「設定 (Configuration)」-->「ネットワーク (Network)」を選択します。
「ネットワーク設定 (Network Settings)」ページが表示されます。

System Information	System Monitoring	Power Management	Storage	Configuration	User Management	Remote Control	Maintenance		
System Management Access	Alert Management	Network	DNS	Serial Port	Clock	Timezone	Syslog	SMTP Client	Policy

Network Settings

View the MAC address and configure network settings for the Service Processor from this page. DHCP is the default mode, but you can manually configure a static IP Address, Netmask, and Gateway. You may also select which port you wish to use for managing this Service Processor.

State: ☒ Enabled

MAC Address: 00:21:28:57:1F:F8

Out Of Band MAC Address: 00:21:28:57:1F:F8

Sideband MAC Address: 00:21:28:57:1F:F9

Management Port:

IP Discovery Mode: ☐ DHCP ☒ Static

IP Address:

Netmask:

Gateway:

3. 「ネットワーク設定 (Network Settings)」ページで、次の手順を実行します。
 - a. 「DHCP」を選択して IP アドレスを自動的に取得するか、「静的 (Static)」を選択して適切な IP アドレスを指定します。
 - b. サイドバンド管理ポートを選択するには、「管理ポート (Management Port)」ドロップダウンリストをクリックし、対象の管理ポートを選択します。
ドロップダウンリストを使用して、4 個のギガビット Ethernet ポートのいずれか、つまり /SYS/MB/NET n (n は 0 - 3) に変更することができます。デフォルトは、SP NET MGT ポート (/SYS/SP/NET0) です。
 - c. 変更を有効にするには、「保存 (Save)」をクリックします。

▼ CLI を使用したサイドバンド管理の設定

1. CLI を使用して、ILOM にログインします。

注 - シリアル接続でこの手順を使用すれば、サイドバンド管理設定の変更中に接続が失われることはありません。

2. シリアルポートを使用してログインした場合は、静的 IP アドレスを割り当てることができます。

手順については、『Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュール設置マニュアル』(821-3653) で IP アドレスの割り当てに関する説明を参照してください。

3. 現在のポート設定を表示するには、次のように入力します。

-> **show /SP/network**

ネットワークプロパティーが表示されます。例:

```
/SP/network
Targets:
Properties:
  commitpending = (Cannot show property)
  dhcp_server_ip = none
  ipaddress = xx.xx.xx.xx
  ipdiscovery = static
  ipgateway = xx.xx.xx.xx
  ipnetmask = xx.xx.xx.xx
  macaddress = 11.11.11.11.11.86
  managementport = /SYS/SP/NET0
  outofbandmacaddress = 11.11.11.11.11.86
  pendingipaddress = xx.xx.xx.xx
  pendingipdiscovery = static
  pendingipgateway = xx.xx.xx.xx
  pendingipnetmask = xx.xx.xx.xx
  pendingmanagementport = /SYS/SP/NET0
  sidebandmacaddress = 11.11.11.11.11.87
  state = enabled
```

この出力例では、現在のアクティブな macaddress は SP の outofbandmacaddress と同じで、現在のアクティブな managementport はデフォルト (/SYS/SP/NET0) に設定されています。

4. SP 管理ポートをサイドバンドポートに設定するため、次のコマンドを入力します。

-> **set /SP/network pendingmanagementport=/SYS/MB/NET n**

n は、0、1、2、または 3 です。

-> **set commitpending=true**

5. 変更内容を確認するため、次を入力します。

-> **show /SP/network**

ネットワークプロパティが表示され、変更が有効になったことが示されます。

例:

```
/SP/network
Targets:
Properties:
  commitpending = (Cannot show property)
  dhcp_server_ip = none
  ipaddress = xx.xx.xx.xx
  ipdiscovery = static
  ipgateway = xx.xx.xx.xx
  ipnetmask = xx.xx.xx.xx
  macaddress = 11.11.11.11.11.87
  managementport = /SYS/MB/NETn
  outofbandmacaddress = 11.11.11.11.11.86
  pendingipaddress = xx.xx.xx.xx
  pendingipdiscovery = static
  pendingipgateway = xx.xx.xx.xx
  pendingipnetmask = xx.xx.xx.xx
  pendingmanagementport = /SYS/MB/NETn
  sidebandmacaddress = 11.11.11.11.11.87
  state = enabled
```

この出力例では、macaddress が sidebandmacaddress と一致し、managementport が pendingmanagementport と一致しています。

▼ ホスト BIOS 設定ユーティリティーを使用したサイドバンド管理の設定

次のインタフェースから BIOS 設定ユーティリティー画面にアクセスできます。

- サーバーモジュールに直接接続された USB キーボード、マウス、および VGA モニターを使用する。
- サーバーモジュールのシリアルポートを介して端末 (またはコンピュータに接続された端末エミュレータ) を使用する。
- ILOM リモートコンソールを使用してサーバーモジュールに接続する。このインタフェースを使用するには、サーバーモジュールの IP アドレスを知っている必要があります。

ホスト BIOS 設定ユーティリティーを使用してサイドバンド管理を設定するには、次の手順を実行します。

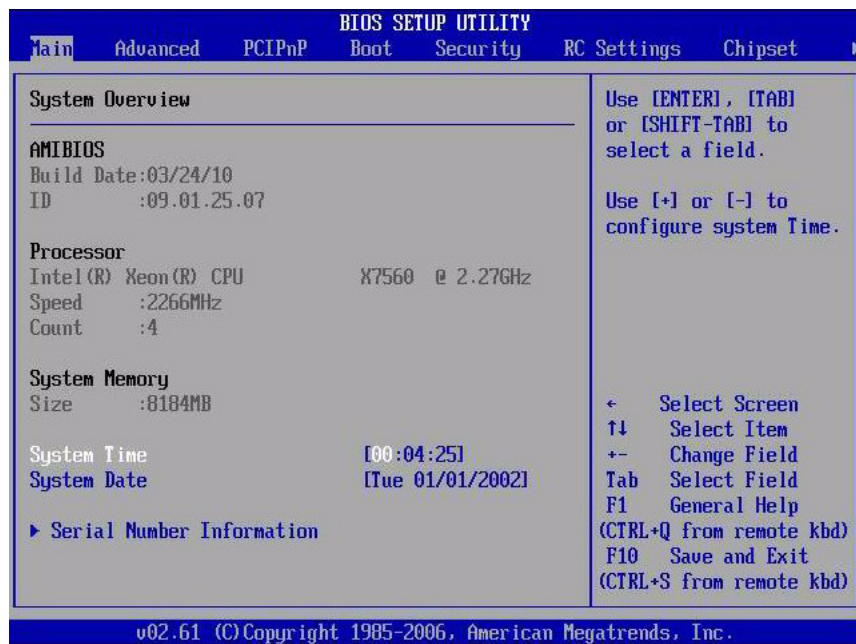
1. サーバーモジュールの電源を投入または再投入します。
2. 電源投入時の自己診断テスト (Power-On Self-Test、POST) の間に F2 キーを押して、BIOS 設定ユーティリティを起動します。

```

Initializing USB Controllers .. Done.
Press F2 to run Setup (CTRL+E on Remote Keyboard)
Press F8 for BBS POPUP (CTRL+P on Remote Keyboard)
Press F12 to boot from the network (CTRL+N on Remote Keyboard)

```

BIOS が起動すると、BIOS 設定ユーティリティのメインのトップレベル画面が表示されます。この画面には、上部に 7 つのメニューオプションがあります。

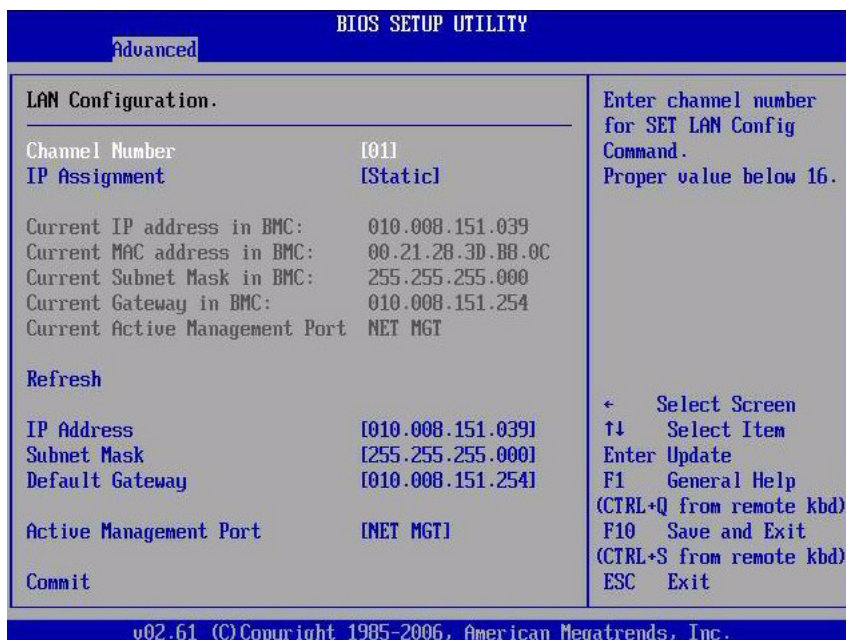


3. メイン画面で、「詳細 (Advanced)」-->「IPMI 設定 (IPMI Configuration)」を選択します。
「IPMI 2.0 設定 (IPMI 2.0 Configuration)」画面が表示されます。



4. 「IPMI 2.0 設定 (IPMI 2.0 Configuration)」画面で、「LAN 構成の設定 (Set LAN Configuration)」オプションを選択します。

「LAN 設定 (LAN Configuration)」画面が表示されます。



5. 「LAN 設定 (LAN Configuration)」画面で、次の手順を実行します。
 - a. 左右の矢印キーを使用して、「IP の割り当て (IP Assignment)」オプションを選択し、「DHCP」に設定します。
 - b. 左右の矢印キーを使用して、「有効な管理ポート (Active Management Port)」オプションを選択し、ポートをサイドバンド管理ポート (NET0、NET1、NET2、NET3) に設定します。
NET MGT ポートがデフォルトです。
 - c. 「決定 (Commit)」を選択して、変更を有効にします。

SP とホストコンソール間のシリアルポート出力の切り替え

シリアルポート出力を、SP コンソール (SER MGT) とホストコンソール (COM1) の間で切り替えることができます。デフォルトでは、SP コンソールがシステムのシリアルポートに接続されます。この機能を使用すると、ホストコンソールから ASCII 文字以外のトラフィックを表示できるため、Windows カーネルのデバッグに役立ちます。

ILOM Web インタフェースまたは ILOM コマンド行インタフェース (Command-Line Interface、CLI) のどちらかを使用して、シリアルポート出力を切り替えることができます。手順については、次の節を参照してください。

- [14 ページの「Web インタフェースを使用したシリアルポート出力の切り替え」](#)
- [15 ページの「CLI を使用したシリアルポート出力の切り替え」](#)



注意 – SP 上でネットワークを設定してから、シリアルポートの所有者をホストサーバーモジュールに切り替えるようにしてください。ネットワークが設定されていない状態でシリアルポートの所有者をホストサーバーモジュールに切り替えると、CLI または Web インタフェースを使用して接続できないため、シリアルポートの所有者を SP に戻すことができなくなります。この場合に、シリアルポートの所有者を SP に戻すには、ILOM の「Preboot」メニューを使用して、ネットワークを介してシリアルポートへのアクセスを復元する必要があります。詳細は、『*Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールサービスマニュアル*』(821-3655) で ILOM の「Preboot」メニューに関する情報を参照してください。

▼ Web インタフェースを使用したシリアルポート出力の切り替え

1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. 「設定 (Configuration)」-->「シリアルポート (Serial Port)」を選択します。
「シリアルポート設定 (Serial Port Settings)」ページが表示されます。

System Information	System Monitoring	Power Management	Storage	Configuration
System Management Access	Alert Management	Network	DNS	Serial Port

Serial Port Settings

The Host Serial Port is the connection between the host server and the service processor that allows a service processor console port on the host server, often referred to as serial port 0, COM0, or /dev/ttyS0. The External Serial Port is the same speed to avoid flow control issues when connecting to the host console from the SP external serial port. See the ILOM User's Guide for more information.

Serial Port Sharing

 This setting controls whether the external serial port is electrically connected to the Host Server or the Service Processor. The default is Host Server.

Owner:

Host Serial Port

 This setting must match the setting for Serial Port 0, COM1 or /dev/ttyS0 on the host operating system.

Baud Rate:

Flow Control:

External Serial Port

Baud Rate:

Flow Control:

3. シリアルポートの所有者を選択するには、「所有者 (Owner)」ドロップダウンリストをクリックして、対象のシリアルポート所有者を選択します。
ドロップダウンで、「Service Processor」または「Host Server」のいずれかを選択します。
デフォルトでは「Service Processor」が選択されます。
4. 「保存 (Save)」をクリックして変更を有効にします。

▼ CLI を使用したシリアルポート出力の切り替え

1. ILOM CLI にログインします。
2. シリアルポートの所有者を設定するには、次のように入力します。

```
-> set /SP/serial/portsharing/owner=host
```

デフォルトでは、owner=SP です。

サーバーモジュールおよび CMM 障害のクリア

サーバーモジュールコンポーネントで障害が発生した場合は、サーバーモジュールがコンポーネント固有の障害を生成し、その障害を ILOM SP が収集します。一部の障害は、障害が発生したコンポーネントを交換するときに自動的にクリアされますが、ホットサービスに対応していないコンポーネントで生成された障害は、手動でクリアする必要があります。ILOM Web インタフェースまたはコマンド行インタフェース (Command-Line Interface、CLI) を使用して障害を手動でクリアできます。

Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールの場合、次のタイプの障害は、障害の生じたコンポーネントを交換したあとに、手動でクリアする必要があります。

- ファブリック拡張モジュール (Fabric Expansion Module、FEM) の障害
- CPU の障害
- マザーボード障害 (マザーボードが交換されない場合)

ILOM の障害管理機能で収集されるその他の障害としては、シャーシ監視モジュール (Chassis Management Module、CMM) によって生成された障害などがあります。これらの障害は、次に示すような、シャーシ内のほかのコンポーネントで障害が発生した場合に発生します。

- CMM 障害
- ファンの障害
- 電源装置の障害
- NEM 障害

シャーシに関係する障害は、システムによって自動的に解決されることはありません。これらの障害は、ILOM CMM の障害管理機能を使用して、手動で解決する必要があります。CMM によって報告された障害を解決すると、ILOM SP の障害管理機能のシステムによって、シャーシに関連する障害が自動的に解決されます。

障害をクリアする場合は、次の点に注意してください。

- メモリ DIMM の障害を解決する際、DIMM 障害はシステム全体に及んでいる (/SYS/MB) か、各 DIMM で発生 (/SYS/MB/Pn/Dn) している場合があることに注意してください。
- PCIe 障害には /SYS/MB/NETn が含まれます。

障害をクリアする手順は、障害のタイプによって異なります。

- `fault.security.integrity-compromised@/sys/sp` 障害をクリアするには、サーバーモジュールの上部カバーを交換し、サーバーの SP を再起動します。
- DIMM、CPU、マザーボード、および PCIe の障害をクリアするには、サーバーモジュールの ILOM SP にアクセスし、該当コンポーネントの障害をクリアします。

ILOM Web インタフェースまたは CLI を使用してサーバーモジュールの障害をクリアする方法については、次の Web サイトで Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 マニュアルセットを参照してください。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic>

センサーとインジケータに関する参照情報

サーバーモジュールには、ハードウェアの状態を報告する複数のセンサーがあります。センサーの読み取り値の多くが、ファン速度の調節やその他の動作 (LED の点灯、サーバーモジュールの電源の切断など) を実行するために使用されます。

この節では、Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールで ILOM が監視するセンサーについて説明します。

次のタイプのセンサーについて説明します。

- [17 ページの「温度センサー」](#)
- [17 ページの「ファンセンサー」](#)
- [17 ページの「FEM および ESM センサー」](#)
- [18 ページの「電源装置センサー」](#)
- [18 ページの「エンティティ存在センサー」](#)
- [19 ページの「システムインジケータ」](#)

注 – ILOM でセンサーの読み取り値を取得する方法や、システムインジケータの状態を判断する方法については、『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』(820-6412) および『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』(820-6411) を参照してください。

温度センサー

表 2-3 に、環境センサーを示します。

表 2-3 温度センサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/MB/T_AMB	温度	マザーボード周辺温度センサー
/SYS/T_AMB	温度	/SYS/MB/T_AMB のミラー
/SYS/MB/RFEM0/T_AMB	温度	FEM の温度センサー

ファンセンサー

表 2-5 に、ファンセンサーを示します。

表 2-4 ファンセンサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/FM[0-5]/F[0-1]/TACH	速度	ファン速度センサー
/SYS/FM[0-5]/ERR	障害	ファンモジュールエラー

FEM および ESM センサー

表 2-5 に、ファブリック拡張モジュール (FEM) とエネルギーストレージモジュール (ESM) センサーを示します。

表 2-5 FEM および ESM センサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/MB/RFEM[0-1]/FAULT	障害	FEM に障害が発生した場合に表明
/SYS/MB/RFEM[0-1]/ESM/FAULT	障害	ESM に障害が発生した場合に表明

電源装置センサー

表 2-6 に、電源センサーを示します。

表 2-6 電源装置の電流、電圧、および電源センサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/PS[0-1]/PRSNT	存在	電源装置の存在センサー
/SYS/PS[0-1]/S[0-1]/V_IN_ERR	障害	電源装置の入力電圧センサー
/SYS/PS[0-1]/S[0-1]/V_OUT_OK	障害	電源装置の出力電圧障害センサー
/SYS/VPS	障害	電圧および電流モニター

エンティティ存在センサー

表 2-7 に、エンティティ存在センサーを示します。表内で、 n は数値 $0 \sim n$ を表しています。

表 2-7 存在センサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/HDD[0-3]/PRSNT	エンティティの存在	ストレージデバイスの存在センサー
/SYS/PS[0-1]/PRSNT	エンティティの存在	電源装置の存在センサー
/SYS/PEM[0-1]/PRSNT	エンティティの存在	PCI ExpressModule の存在センサー
/SYS/NEM[0-1]/PRSNT	エンティティの存在	Network Express Module (NEM) の存在センサー
/SYS/CMM/PRSNT	エンティティの存在	シャーシ監視モジュール (CMM) の存在センサー
/SYS/BL[0-9]/PRSNT	エンティティの存在	ブレードの存在センサー
/SYS/SLOTID	エンティティの存在	ブレードのスロット ID
/SYS/MB/P[0-1]/PRSNT	エンティティの存在	CPU の存在センサー
/SYS/MB/P[0-1]/D[0-8]/PRSNT	エンティティの存在	DIMM の存在センサー

表 2-7 存在センサー (続き)

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/MB/RFEM[0-1]/PRSNT	エンティティの存在	ファブリック拡張モジュール (Fabric Expansion Module、FEM) の存在センサー
/SYS/MB/REM/PRSNT	エンティティの存在	RAID 拡張モジュール (RAID Expansion Module、REM) の存在センサー
/SYS/MB/FMOD/PRSNT	エンティティの存在	フラッシュモジュール (FMOD) の存在センサー
/SYS/MB/RFEM[0-1]/ESM/PRSNT	エンティティの存在	エネルギーストレージモジュール (ESM) の存在センサー

システムインジケータ

表 2-8 に、システムインジケータを示します。

表 2-8 システムインジケータ

センサー名	説明
/SYS/OK	前面パネルの OK/電源 LED – 緑色
/SYS/LOCATE	前面パネルの位置特定 LED – 白色
/SYS/SERVICE	前面パネルの保守 LED – オレンジ色
/SYS/OK2RM	前面パネルの取り外し可能 LED – 青色
/SYS/HDD[0-3]/OK2RM	ストレージドライブの取り外し可能 LED – 青色
/SYS/HDD[0-3]/SERVICE	ストレージドライブの保守 LED – オレンジ色
/SYS/RFEM[0-1]/SERVICE	ストレージドライブ RFEM 保守インジケータ
/SYS/FMOD[0-1]/SERVICE	FMOD 保守インジケータ
/SYS/MB/P[0-1]/SERVICE	CPU 保守インジケータ
/SYS/MB/P[0-1]/D[0-8]/SERVICE	DIMM 保守インジケータ

SNMP および PET メッセージの参照情報

この節では、ILOM が監視しているデバイスから生成される SNMP および Platform Event Trap (PET) のメッセージについて説明します。

- [20 ページの「SNMP トラップ」](#)
- [25 ページの「PET イベントメッセージ」](#)

SNMP トラップ

SNMP トラップは、ILOM によって管理されている SNMP デバイスにインストールされた SNMP エージェントによって生成されます。Oracle ILOM は SNMP トラップを受信して、これらをイベントログに表示される SNMP イベントメッセージに変換します。システムで生成される SNMP イベントメッセージについては、[表 2-9](#) を参照してください。

表 2-9 SNMP イベントメッセージ

SNMP トラップメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
メモリーに関する SNMP イベント			
sunHwTrapMemoryFault	fault.memory.channel.misconfigured	中度。メモリーコンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/MB/P/D
sunHwTrapMemoryFault Cleared	fault.memory.channel.misconfigured	情報。メモリーコンポーネントの障害がクリアされました	/SYS/MB/P/D
sunHwTrapComponentFault	fault.memory.intel.dimmem.none	中度。メモリーコンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/MB
	fault.memory.conroller.input-invalid		
	fault.memory.controller.init-failed		
	fault.memory.intel.dimmem.population-invalid		

表 2-9 SNMP イベントメッセージ (続き)

SNMP トラップメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
sunHwTrapComponentFault Cleared	fault.memory.intel.dimm.none	情報。メモリーコン ポーネントの障害がク リアされました	/SYS/MB
	fault.memory.conroller.input- invalid		
	fault.memory.controller.init- failed		
	fault.memory.intel.dimm.popul ation-invalid		
sunHwTrapMemoryFault	fault.memory.intel.dimm.incom patible	中度。メモリーコン ポーネントで障害が発 生した疑いがあります	/SYS/MB/P/D
	fault.memory.intel.dimm.incom patible-maxranks		
	fault.memory.intel.dimm.incom patible-quadrant		
sunHwTrapMemoryFault Cleared	fault.memory.intel.dimm.incom patible	情報。メモリーコン ポーネントの障害がク リアされました	/SYS/MB/P/D
	fault.memory.intel.dimm.incom patible-maxranks		
	fault.memory.intel.dimm.incom patible-quadrant		
環境に関する SNMP イベント			
sunHwTrapPowerSupplyFault	fault.chassis.env.power.loss	中度。電源装置コン ポーネントで障害が発 生した疑いがあります	/SYS/PS
sunHwTrapPowerSupplyFault Cleared	fault.chassis.env.power.loss	情報。電源装置コン ポーネントの障害がク リアされました。	
sunHwTrapComponentFault	fault.chassis.env.temp.over-fail	中度。コンポーネント で障害が発生した疑い があります	/SYS/
sunHwTrapComponentFault Cleared	fault.chassis.env.temp.over-fail	情報。コンポーネント の障害がクリアされま した	

表 2-9 SNMP イベントメッセージ (続き)

SNMP トラップメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
sunHwTrapTempCritThresholdExceeded	Lower critical threshold exceeded (重大なしきい値の下限を下回りました)	中度。温度センサーは、測定値が重大なしきい値設定の上限を上回ったか、重大なしきい値設定の下限を下回ったことを報告しています	/SYS/DBP/T_A MB
sunHwTrapTempCritThresholdDeasserted	Lower critical threshold no longer exceeded (重大なしきい値の下限を上回りました)	情報。温度センサーは、測定値が正常な動作範囲内にあることを報告しています	
sunHwTrapTempNonCritThresholdExceeded	Upper noncritical threshold exceeded (重大でないしきい値の上限を上回りました)	軽度。温度センサーは、測定値が重大なしきい値設定の上限を上回ったか、重大なしきい値設定の下限を下回ったことを報告しています	
sunHwTrapTempOk	Upper noncritical threshold no longer exceeded (重大でないしきい値の上限を下回りました)	情報。温度センサーは、測定値が正常な動作範囲内にあることを報告しています	
sunHwTrapTempFatalThresholdExceeded	Lower fatal threshold exceeded (致命的なしきい値の下限を下回りました)	重度。温度センサーは、測定値が致命的なしきい値設定の上限を上回ったか、致命的なしきい値設定の下限を下回ったことを報告しています	
sunHwTrapTempFatalThresholdDeasserted	Lower fatal threshold no longer exceeded (致命的なしきい値の下限を上回りました)	情報。温度センサーは、測定値が致命的なしきい値設定の上限を下回ったか、致命的なしきい値設定の下限を上回ったことを報告しています	

表 2-9 SNMP イベントメッセージ (続き)

SNMP トラップメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
sunHwTrapTempFatalThresholdExceeded	Upper fatal threshold exceeded (致命的なしきい値の上限を上回りました)	重度。温度センサーは、測定値が致命的なしきい値設定の上限を上回ったか、致命的なしきい値設定の下限を下回ったことを報告しています	/SYS/T_AMB
sunHwTrapTempCritThresholdExceeded	Upper critical threshold exceeded (重大なしきい値の上限を上回りました)	中度。温度センサーは、測定値が重大なしきい値設定の上限を上回ったか、重大なしきい値設定の下限を下回ったことを報告しています	
sunHwTrapTempCritThresholdDeasserted	Upper critical threshold no longer exceeded (重大なしきい値の上限を下回りました)	情報。温度センサーは、測定値が正常な動作範囲内にあることを報告しています	
sunHwTrapTempFatalThresholdDeasserted	Upper fatal threshold no longer exceeded (致命的なしきい値の上限を下回りました)	情報。温度センサーは、測定値が致命的なしきい値設定の上限を下回ったか、致命的なしきい値設定の下限を上回ったことを報告しています	
sunHwTrapComponentError	Assert (表明)	中度。電源装置センサーがエラーを検出しました	/SYS/HOT /SYS/PSn/Sn/V_OUT_OK
sunHwTrapComponentOk	Deassert (表明停止)	情報。電源装置センサーは正常な状態に戻りました	/SYS/PSn/Sn/V_OUT_OK /SYS/PSn/Sn/V_OUT_OK /SYS/PSn/Sn/V_OUT_OK /SYS/PSn/Sn/V_OUT_OK /SYS/PSn/Sn/V_OUT_OK /SYS/PSn/Sn/V_OUT_OK

表 2-9 SNMP イベントメッセージ (続き)

SNMP トラップメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
デバイス SNMP イベント			
sunHwTrapComponentFault	fault.chassis.device.missing	中度。コンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/
sunHwTrapComponentFault クリア	fault.chassis.device.missing	情報。コンポーネントの障害がクリアされました	
sunHwTrapComponentFault	fault.chassis.device.fail	中度。コンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/CMM
sunHwTrapComponentFault クリア	fault.chassis.device.fail	情報。 コンポーネントの障害がクリアされました	
sunHwTrapIOFault	fault.chassis.device.fail	中度。IO サブシステム内のコンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/NEM
sunHwTrapIOFaultCleared	fault.chassis.device.fail	情報。IO サブシステムコンポーネントの障害がクリアされました	
電源装置に関する SNMP イベント			
sunHwTrapPowerSupplyError	Assert (表明)	中度。電源装置センサーがエラーを検出しました	/SYS/PWRBS
sunHwTrapPowerSupplyOk	Deassert (表明停止)	情報。電源装置センサーは正常な状態に戻りました	
sunHwTrapPowerSupplyFault	fault.chassis.env.power.loss	中度。電源装置コンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/PS /SYS/PS
sunHwTrapPowerSupplyFault クリア	fault.chassis.env.power.loss	情報。電源装置コンポーネントの障害がクリアされました。	

PET イベントメッセージ

PET イベントメッセージは、Alert Standard Format (ASF) または IPMI Baseboard Management Controller を備えたシステムによって生成されます。PET イベントは、発生する可能性があるシステムの障害を事前に報告します。Oracle の Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュールで生成される PET イベントメッセージの詳細については、[表 2-10](#) を参照してください。

表 2-10 PET イベントメッセージ

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
システムの電源に関するイベント			
petTrapPowerUnitStateDeassertedAssert	PowerSupply sensor ASSERT	重度。実行時の電源障害が発生しました	/SYS/PWRBS
petTrapPowerSupplyStateAssertedAssert	PowerSupply sensor DEASSERT	情報。電源装置は AC 電源に接続されています	

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
エンティティの存在に関するイベント			
petTrapProcessorPresence DetectedDeassert	EntityPresence Insert	重度。プロセッサが存在し ないか、削除されました。	/SYS/HOSTPOWER /SYS/CMM/PRSNT /SYS/MB/REM/PRSNT /SYS/MB/RFEM0/PRSNT /SYS/MB/RFEM1/PRSNT /SYS/PEM0/PRSNT /SYS/PEM1/PRSNT /SYS/MB/P0/PRSNT /SYS/MB/P1/PRSNT /SYS/MB/P0/D0/PRSNT /SYS/MB/P0/D1/PRSNT /SYS/MB/P0/D2/PRSNT /SYS/MB/P0/D3/PRSNT /SYS/MB/P0/D4/PRSNT /SYS/MB/P0/D5/PRSNT /SYS/MB/P0/D6/PRSNT /SYS/MB/P0/D7/PRSNT /SYS/MB/P0/D8/PRSNT /SYS/MB/P1/D0/PRSNT /SYS/MB/P1/D1/PRSNT /SYS/MB/P1/D2/PRSNT /SYS/MB/P1/D3/PRSNT /SYS/MB/P1/D4/PRSNT /SYS/MB/P1/D5/PRSNT /SYS/MB/P1/D6/PRSNT /SYS/MB/P1/D7/PRSNT /SYS/MB/P1/D8/PRSNT /SYS/HDD0/PRSNT /SYS/HDD1/PRSNT /SYS/HDD2/PRSNT /SYS/HDD3/PRSNT> /SYS/MB/RFEM0/FMOD0/ PRSNT /SYS/MB/RFEM0/FMOD1/ PRSNT /SYS/MB/RFEM0/ESM/PRS NT

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
petTrapProcessorPresence DetectedDeassert (続き)			/SYS/NEM0/PRSNT /SYS/NEM1/PRSNT /SYS/BL0/PRSNT /SYS/BL1/PRSNT /SYS/BL2/PRSNT /SYS/BL3/PRSNT /SYS/PS0/PRSNT /SYS/PS1/PRSNT /SYS/PS2/PRSNT /SYS/PS3/PRSNT
petTrapEntityPresenceDe viceInsertedAssert	EntityPresence Remove	情報。デバイスが存在して いるか、挿入されました	/SYS/HOSTPOWER /SYS/CMM/PRSNT /SYS/MB/REM/PRSNT /SYS/MB/RFEM0/PRSNT /SYS/MB/RFEM1/PRSNT /SYS/PEM0/PRSNT /SYS/PEM1/PRSNT /SYS/MB/P0/PRSNT /SYS/MB/P1/PRSNT /SYS/MB/P0/D0/PRSNT /SYS/MB/P0/D1/PRSNT /SYS/MB/P0/D2/PRSNT /SYS/MB/P0/D3/PRSNT /SYS/MB/P0/D4/PRSNT /SYS/MB/P0/D5/PRSNT /SYS/MB/P0/D6/PRSNT /SYS/MB/P0/D7/PRSNT /SYS/MB/P0/D8/PRSNT /SYS/MB/P1/D0/PRSNT /SYS/MB/P1/D1/PRSNT /SYS/MB/P1/D2/PRSNT /SYS/MB/P1/D3/PRSNT /SYS/MB/P1/D4/PRSNT /SYS/MB/P1/D5/PRSNT /SYS/BL0/PRSNT

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
petTrapEntityPresenceDe viceInsertedAssert (続き)	EntityPresence Remove	情報。デバイスが存在して いるか、挿入されました	/SYS/MB/P1/D6/PRSNT /SYS/MB/P1/D7/PRSNT /SYS/MB/P1/D8/PRSNT /SYS/HDD0/PRSNT /SYS/HDD1/PRSNT /SYS/HDD2/PRSNT /SYS/HDD3/PRSNT /SYS/MB/RFEM0/FMOD0/ PRSNT /SYS/MB/RFEM0/FMOD1/ PRSNT /SYS/MB/RFEM0/ESM/PRS NT /SYS/NEM0/PRSNT /SYS/NEM1/PRSNT /SYS/BL1/PRSNT /SYS/BL2/PRSNT /SYS/BL3/PRSNT /SYS/PS0/PRSNT /SYS/PS1/PRSNT /SYS/PS2/PRSNT /SYS/PS3/PRSNT
環境に関するイベント			
petTrapTemperatureState DeassertedDeassert	Temperature sensor ASSERT	情報。温度イベントが発生 しました	/SYS/HOT
petTrapTemperatureState DeassertedDeassert	Temperature sensor DEASSERT	重度。温度イベントが発生 しました	

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
petTrapTemperatureUpperNonRecoverableGoingLowDeassert	Temperature Upper non-critical threshold has been exceeded (温度が重大でないしきい値の上限を上回りました)	中度。温度が回復不可能なしきい値の上限を下回りました	/SYS/MB/T_AMB
petTrapTemperatureStateAssertedAssert	Temperature Upper non-critical threshold no longer exceeded (温度が重大でないしきい値の上限を下回りました)	重度。温度イベントが発生しました。可能性のある原因は、CPU の過熱です。	
petTrapTemperatureUpperCriticalGoingHigh	Temperature Lower fatal threshold has been exceeded (温度が致命的なしきい値の下限を下回りました)	中度。温度が重大なしきい値の上限を上回っています	
petTrapTemperatureUpperCriticalGoingLowDeassert	Temperature Lower fatal threshold no longer exceeded (温度が致命的なしきい値の下限を上回りました)	警告。温度が重大なしきい値の上限を下回りました	
petTrapTemperatureLowerNonCriticalGoingLow	Temperature Lower critical threshold has been exceeded (温度が重大なしきい値の下限を下回りました)	警告。温度が重大でないしきい値の上限を下回りました	
petTrapTemperatureLowerNonCriticalGoingHighDeassert	Temperature Lower critical threshold no longer exceeded (温度が重大なしきい値の下限を上回りました)	情報。 温度が正常に戻りました	
petTrapTemperatureUpperNonCriticalGoingHigh	Temperature Upper critical threshold has been exceeded (温度が重大なしきい値の上限を上回りました)	警告。温度が重大でないしきい値の上限を上回っています	
petTrapTemperatureUpperNonCriticalGoingLowDeassert	Temperature Upper critical threshold no longer exceeded (温度が重大なしきい値の上限を下回りました)	情報。 温度が正常に戻りました	

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
petTrapTemperatureLowerCriticalGoingLow	Temperature Lower fatal threshold has been exceeded (温度が致命的なしきい値の下限を下回りました)	中度。温度が重大なしきい値の上限を下回りました	
petTrapTemperatureLowerCriticalGoingHighDeassert	Temperature Lower fatal threshold no longer exceeded (温度が致命的なしきい値の下限を上回りました)	警告。温度が重大なしきい値の下限を上回っています	
petTrapTemperatureLowerNonRecoverableGoingHighDeassert	Temperature Lower non-critical threshold has been exceeded (温度が重大でないしきい値の下限を下回りました)	中度。温度が回復不可能なしきい値の下限を上回りました	
petTrapTemperatureUpperNonRecoverableGoingHigh	Temperature Lower non-critical threshold no longer exceeded (温度が重大でないしきい値の下限を上回りました)	重度。温度が回復不可能なしきい値の上限を上回っています	
コンポーネント、デバイス、およびファームウェアイベント			
petTrapOEMStateDeassertedAssert	OEMReserved sensor ASSERT	情報。ESM の障害が発生しました (「作動停止の OEM 状態 (OEM State Deasserted)」の作動)	/SYS/MB/RFEMn/FAULT /SYS/MB/RFEMn/ESM/FAULT
petTrapOEMPredictiveFailureAsserted	OEMReserved sensor DEASSERT	中度。 OEM 障害予測が表明されました	
petTrapOEMPredictiveFailureDeasserted	OEMReserved reporting Predictive Failure	情報。 OEM 障害予測が停止しました	/SYS/CMM/ERR /SYS/NEMn/ERR /SYS/NEMn/ERR
petTrapSystemFirmwareError	OEMReserved Return to normal	情報。 システムファームウェアエラーが報告されました	/SYS/BLn/ERR /SYS/BLn/ERR /SYS/BLn/ERR /SYS/BLn/ERR

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
petTrapModuleBoardTransitionToRunningAssert	Module Transition to Running assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoardTransitionToInTestAssert	Module Transition to In Test assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoardTransitionToPowerOffAssert	Module Transition to Power Off assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoardTransitionToOnLineAssert	Module Transition to On Line assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
ドキュメントに未記載の PET 1378820	Module Transition to Off Line assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoardTransitionToOffDutyAssert	Module Transition to Off Duty assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
petTrapModuleBoardTransitionToDegradedAssert	Module Transition to Degraded assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoardTransitionToPowerSaveAssert	Module Transition to Power Save assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoardInstallErrorAssert	Module Install Error assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
電源装置に関する イベント			
petTrapVoltageStateDeassertedDeassert	Voltage sensor ASSERT	情報。電圧イベントが発生しました	/SYS/PSn/V_OUT_OK /SYS/PSn/V_OUT_OK
petTrapVoltageStateAssertedDeassert	Voltage sensor DEASSERT		/SYS/PSn/V_OUT_OK /SYS/PSn/V_OUT_OK
ドキュメントに未記載の PET 132097	Voltage reporting Predictive Failure	情報	/SYS/PSn/V_IN_ERR /SYS/PSn/V_IN_ERR
ドキュメントに未記載の PET 132096	Voltage Return to normal	情報	/SYS/PSn/V_IN_ERR /SYS/PSn/V_IN_ERR
ファンに関するイベント			
petTrapFanPredictiveFailureDeasserted	Fan reporting Predictive Failure	情報。ファンの障害予測状態がクリアされました	/SYS/FMn/ERR /SYS/FMn/ERR
petTrapFanLowerNonRecoverableGoingLow	Fan Return to normal	重度。ファン速度が回復不可能な状態下限のしきい値を下回るまで低下しました。ファンに障害が発生したか取り外されました。	/SYS/FMn/ERR /SYS/FMn/ERR

索引

A

ASF, 25

B

BIOS

サポートされているファームウェアバージョン, 4

H

Hardware Management Pack, 4

サーバー管理作業, 5

サポート情報, 6

ソフトウェアのダウンロード, 6

ドキュメント, 6

I

ILOM

概要, 1

サポートされているファームウェアバージョン, 4

マニュアルセット, 2

P

PET

イベントメッセージ, 25

「Preboot」メニュー, 13

S

SNMP

トラップメッセージ, 20

か

関連ドキュメント, vi

き

機能

プラットフォーム固有, 3

さ

サーバー障害

DIMM, 16

クリア, 15

手動でクリア, 15

クリア手順, 16

サイドバンド管理

使用可能なポート, 6

使用するメリット, 6

設定, 8

接続の損失, 7

目的, 6

し

シャーシ侵入センサー

利点, 16

シリアルポート

切り替え, 13

セットアップ要件, 13

せ

センサー

ESM, 17

FEM, 17

エンティティの存在, 18
温度, 17
電源装置, 18
ファン, 17
センサーとインジケータ
システム, 19

と
ドキュメント
 関連ドキュメント, vi
 フィードバック, viii